

# 宇都宮けんじさんに期待します

2014年1月15日

憲法が輝く兵庫県政をつくる会

安倍自公政権は、国会での多数を力に、消費税増税、TPP参加、原発再稼働、特定秘密保護法、社会保障改悪プログラム法、沖縄新基地建設押し付け、靖国参拝など、国民の要求、願い、怒りに背を向け、暴走に次ぐ、暴走を続けています。

こうした中、1月23日告示、2月9日投票で行われる東京都知事選挙は、東京都政だけにとどまらず、国政にも大きな影響を与えるものとなります。

私たち「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、ともに住民本位の地方自治体をめざす立場から、2012年12月に続き立候補を表明された宇都宮けんじさんの政策を支持し、その実現を心から期待するものです。

宇都宮氏は、今回の知事選挙で、次の5つの基本政策を発表されました。

- I 世界一働きやすく、暮らしやすい希望のまち東京をつくります。
- II 環境重視、防災、減災重視のまち東京をつくります。
- III 原発再稼働・原発輸出を認めず、原発のない社会と経済を東京からめざします。
- IV 教育現場への押し付けをなくし、いじめのない、子どもたちが生き生きと学べる学校をつくります。
- V 安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信します。

そして、これらの実現のために、前回選挙と同じく、住民参加の開かれた都政をめざすことを表明されています。また、今回の都知事選挙の発端となった、猪瀬直樹前知事の5000万円裏金疑惑についても、特別政策で「徹底的に究明し、カネと利権の東京から訣別する」としています。

宇都宮さんは、弁護士として多重債務など貧困の問題に長く携わるとともに、日弁連会長として、人権擁護活動や、東日本大震災と原発事故の被災者・被害者支援などに取り組んでこられました。

今日、「住民の健康と福祉の増進を図る」とされている地方自治体の役割そのものを変質・解体させようとする動きが強まっています。また、大阪府・市のように独裁・命令による政治を公然と正当化する地方行政も進められています。

こうした中で、住民が主人公の地方自治体づくりは焦眉の課題となっています。

私たち「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、宇都宮けんじさんに心から連帯するとともに、あらゆる努力を尽くすものです。